

今月の論説

天気予報への対策？

週刊ブロック通信・論説委員 松崎 秀雄
(インフラテック 代表取締役社長)

参議院の総選挙は予想通り自公の圧勝となり、これで向こう3年間は余程のことが無い限り国政選挙は無いと思われます。

わが国の抱える問題はデフレ、消費税、雇用、医療費、TPP、憲法問題、領土問題等々と山積みありますが、安倍政権の知恵と努力でこれらの難問を切り開いていただきたいと、大いに期待しております。もうそろそろ、穏やかな天気が続いているらしいと思うのは、私だけでは無いはずです。

よくよく考えてみると、我々商売人の「景気」は、ほとんどが周囲の状況に左右されるものであります。政府の重点政策が変わると、その分野の予算の増減があり、分野ごとに悲喜こもごもの様相を呈します。輸出産業は為替相場の変動に一喜一憂し、一方、我々の業界は災害があれば、暇だった昨日から一夜にして日夜生産に励むという具合です。

そんな周囲の状況に振り回される世界から抜け出すために10数年前から新たな事業の柱を育てようと従来の公共工事とは別の事業を進め、しっかりとした2本の柱で公共工事への「風雨」から完全に身を守っておられる同業の会社もあります。このように別の柱を作ることができれば素晴らしいのですが、その前にまずは「風雨」対策の一つとして、皆さんで業界のPRをすべきだと思いませんか？

我々の業界は皆さん紳士であるためか、なかなか思うように自分達の宣伝・PRができないような気がします。社会基盤整備に寄与し、防災・減災では国民の生命財産を守り、大いに世の中に貢献しているはずのコンクリート製品ですが、景気対策という大きな議論の中に巻き込まれ、何かあったら真っ先に「公共投資予算が削られる」のでは、たまたまものではありません。拳銃の果てに「コンクリートから人へ」と言われたこともあります。これでは、今まで頑張ってこられた業界の先達に申し訳ないと思います。やはり元を正せば「業界のことを理解していただこう」という意識を持たなかった自分達が怠慢だったのかな」と反省しきりです。今後は、「コンクリート製品が各地の社会基盤整備、防災・減災のお役に立たせていただいている」と声を大にしてPRしていくことが、公共事業への風雨対策の「雨具」として準備すべき大切なことだと考えます。

ご承知のように、公共投資は1998年度からマイナスシーリングで減額されてきています。アベノミクスや国土強靭化の「10年で200兆円の投資」というような太陽がキラキラと輝くような好景気を予感させる言葉に期待はしますが、もともと國も地方も財政難であることを考えると、夢を見ることはもう止めた方が無難な気もします。

では、何をすればいいのでしょうか？我々の業界が世の中で果たしている役割のPRの他に何か対策を講じなければ、皆さんが「何も雨具等の準備をしない」うちに「暴風警報・大雨警報」やら「かつて経験したことのない」ような風雨が、いつ襲ってくるかも知れません。

私どもインフラテックの場合、本社は鹿児島にありますが、このようなリスクを避けるため積極的に全国展開をしております。鹿児島に強い雨が降った時には福岡に避難し、福岡にも大災害が来たら、関西にまで行こうと思っています。私は、大事な従業員が雨に濡れ風邪をひくようなことはさせたくないのです。

ご承知の方もおられると思いますが今回、縁あって関西を拠点とする大きなグループと、一緒に仕事をさせていただきました。この新しいエリアは九州で風雨が強くなったときの「避難先」のひとつかも知れませんし、ひょっとしたら九州ではとても得られない大きな成果が期待できる所になるかも知れません。これだけ鹿児島から離れていれば、間違いなく風雨のリスク分散になると思っております。

余談ですが、今回のこの合併劇のシナリオ作りには、ずいぶんと時間をかけ、ありとあらゆる観点から検討したであろうと思われるかも知れません。実は正直なところ、通常の「M&A」とは、ずいぶんと違う内容となりました。財務デューデリには注力せず、当然ながらその他の細部を詰めることもほとんどやっておりません。今となってみれば、それだけお互いを信頼した上での合併だったのだ理解しておりますし、その根底には気心の知れた会社同士、いつでも話せば分かり合えるという安心感を皆が持っていたのだと思います。

また相手方のトップも、私と同じような性格・タイプであり、信頼する部下に仕事を任せつつ、じっくりと見守る姿勢を貫いていたことが、合併というすこぶる大きな環境変化にも関わらず、社員が今までと変わらず平穏に仕事ができている理由だと思います。同じような考え方、性格を持った会社同士の合併ですので、ごくごく自然に社員同士が仲良くなり共に助け合い、「早く一緒に業績を上げて行こう」となったのは当然の流れでした。今回の当社のケースのように、似たもの同士が一緒になるということが一番スムーズで負担が少なくて済むのではと思っております。これで、インフラテックグループでは、風雨に対する雨具が一つ増えました。

皆さん、突然の「風雨」に遭い、濡れて風邪などひかないようするため、日頃から雨具の準備が必要だとは思いませんか？